

## 広島県立吉田高校で初めての森林環境教育を行いました

令和2年11月26日  
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、管内の安芸高田市にある県立吉田高校において、初めての森林環境教育を行いました。今回の森林環境教育は、安芸高田市農林水産課からの要請を受けて実現したもので、地域の様々な問題や課題をテーマとして生徒自らが解決方法などを探る探求科に在籍する生徒50名を対象に行いました。



説明を真剣に聞く生徒

森林環境教育のテーマは「森林（もり）の現在を認識し、今（から）できることを考える」で、森林の持つ多面的機能が私たちの生活や経済活動に深く関与していること、生活の中の様々な場面で国産材を使うことの重要性や木材利用を進めることが中山間地域の活性化、林業の成長産業化に繋がることを生徒たちは学びました。



森林環境教育の様子

広島北部森林管理署では、次世代を担う子供たちへの森林環境教育を通じて、森林の大切さや、木材利用の重要性についての意識の醸成に努めていきます。